

2021年12月期 第2四半期 決算説明資料



株式会社 ヴィンクス
2021年 8月 4日

証券コード：3784

2021年12月期 第2四半期 決算説明資料

- 決算概要

- 主なトピックス

【2021年12月期 第2四半期 総括】

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により海外売上の減少はあったものの、国内小売業におけるD Xのニーズの高まりと、既存顧客への更なる深耕が奏功したこと等により計画値・前年実績値を上回りました。

営業利益につきましては、生産性の向上等により計画値・前年実績値を上回りました。

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目名	2021年上期		計画対比 (2021年2月9日発表)				前年同期 対比			
	実績値	売上比	計画値	計画比	計画差	売上比	実績値	前年比	前年差	売上比
売上高	14,549	—	14,200	102.5%	349	—	14,082	103.3%	467	—
売上総利益	3,473	23.9%	3,492	99.5%	▲18	24.6%	3,453	100.6%	20	24.5%
販売管理費	2,205	15.2%	2,357	93.6%	▲151	16.6%	2,331	94.6%	▲125	16.6%
営業利益	1,268	8.7%	1,135	111.7%	133	8.0%	1,122	113.0%	145	8.0%
経常利益	1,273	8.8%	1,130	112.7%	143	8.0%	1,130	112.7%	143	8.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	804	5.5%	700	114.9%	104	4.9%	694	115.9%	110	4.9%

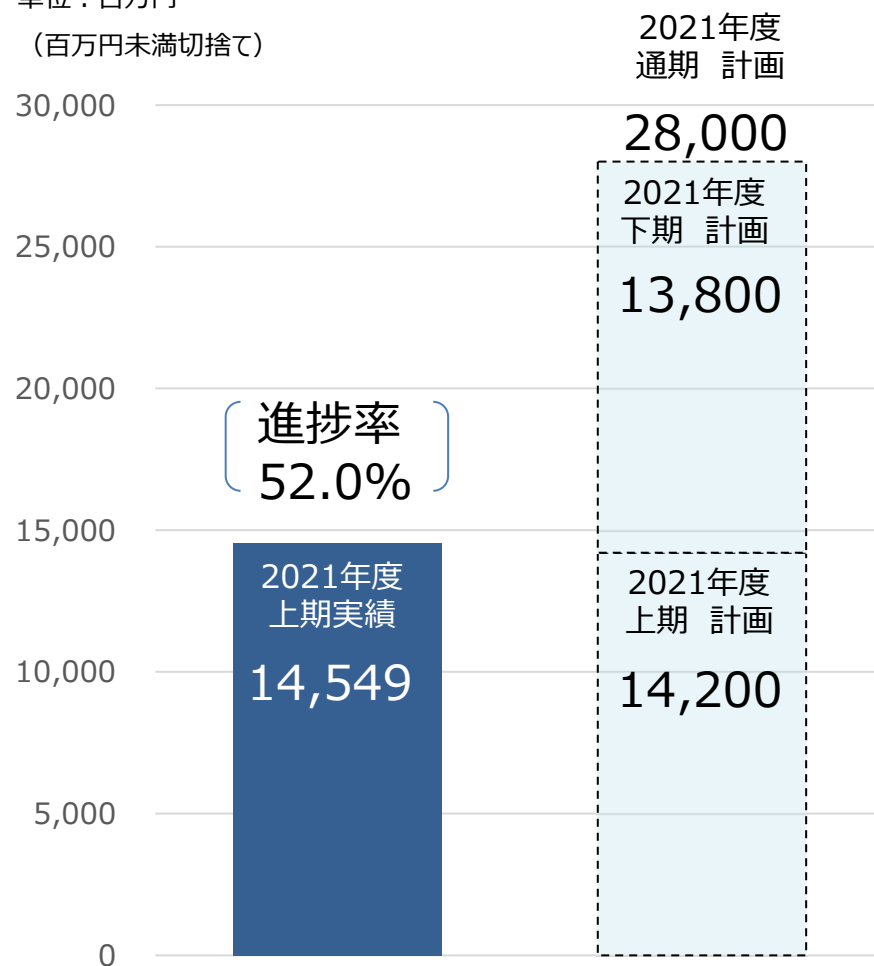
2021年度 売上高・営業利益 進捗状況

VINX

【売上高】

単位：百万円

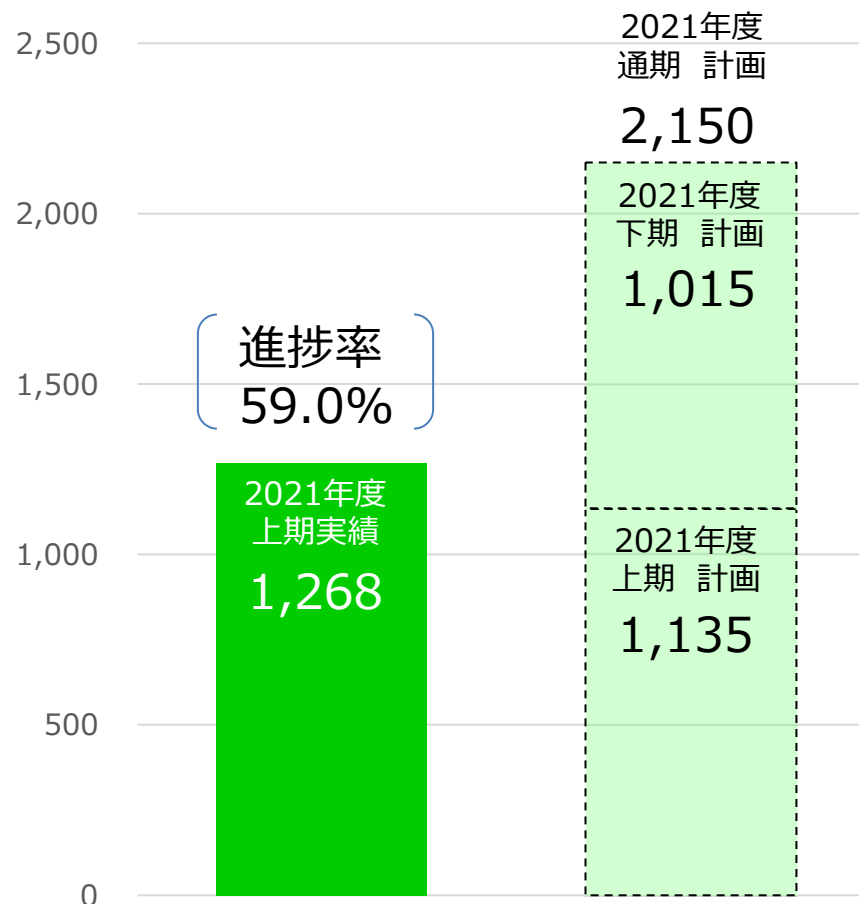
(百万円未満切捨て)



【営業利益】

単位：百万円

(百万円未満切捨て)

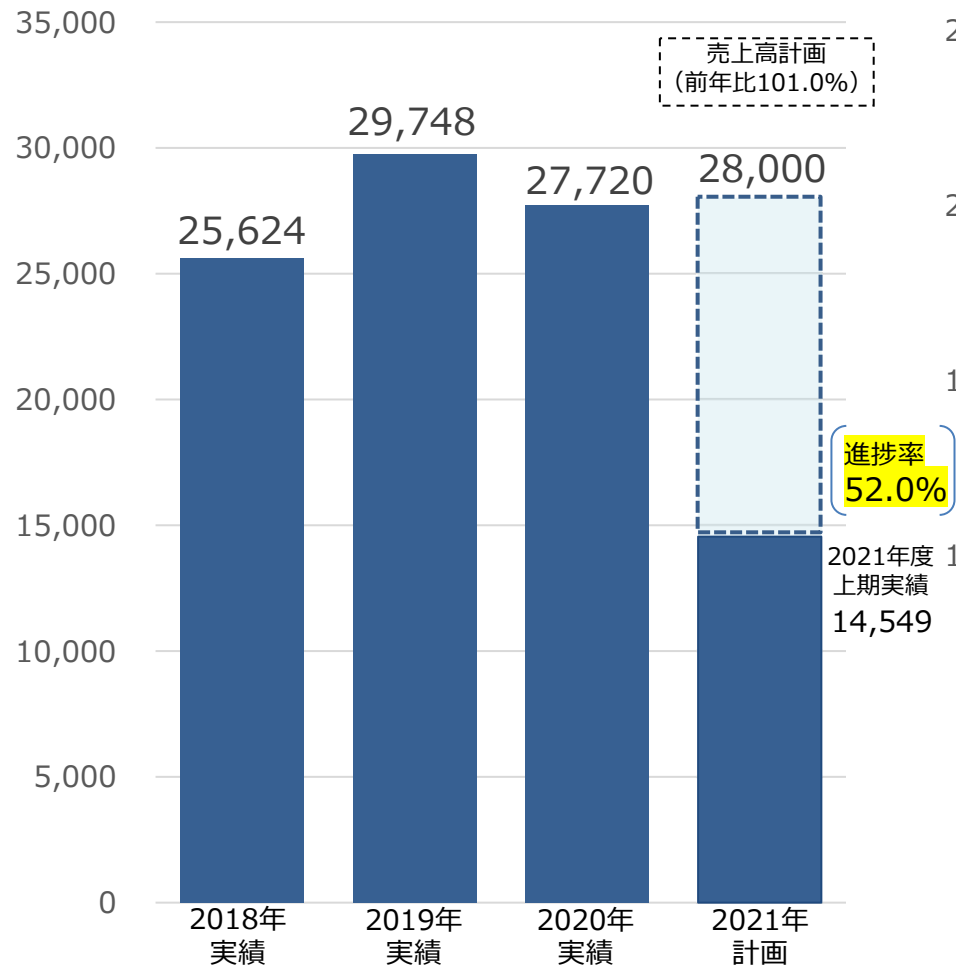


売上高・営業利益の推移

VINX

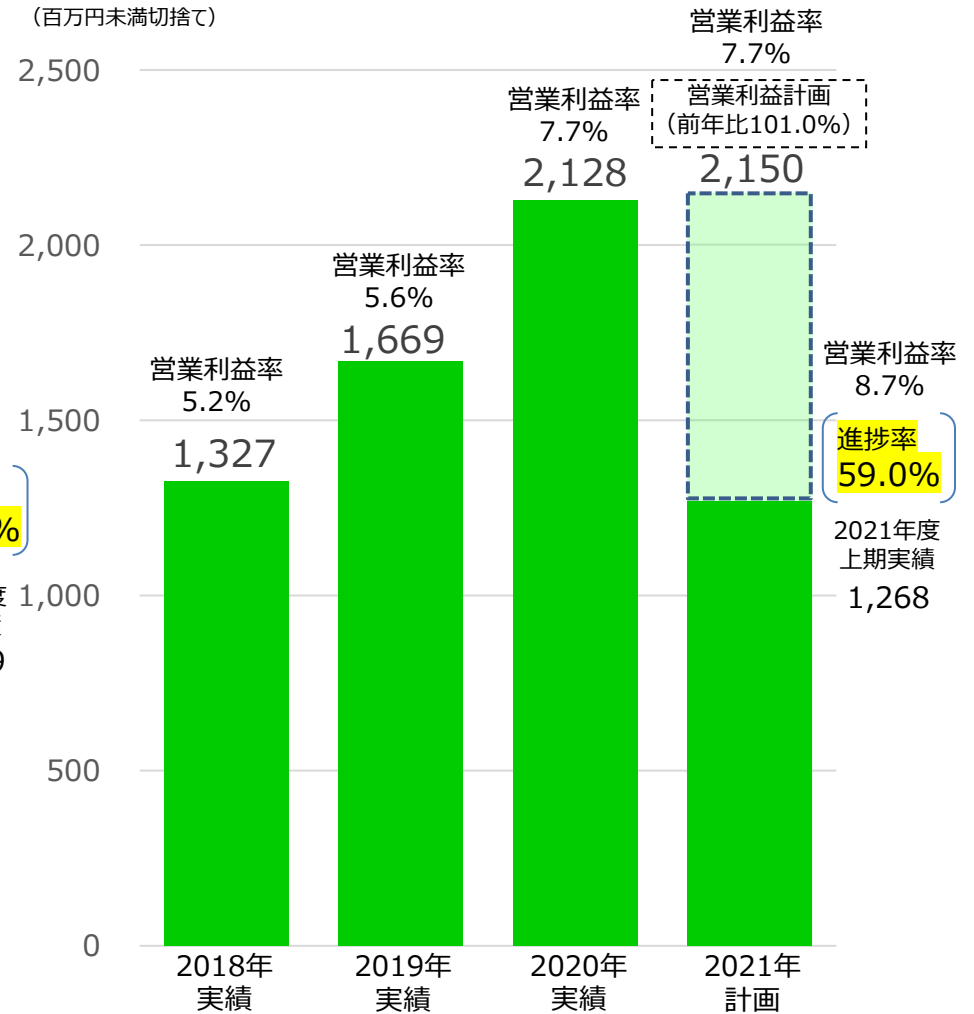
【売上高】

単位：百万円
(百万円未満切捨て)



【営業利益】

単位：百万円
(百万円未満切捨て)



分野別状況

VINX

1. アウトソーシング分野につきましては、主に海外を中心とした顧客の店舗休業およびサービス内容変更等により、売上高、営業利益ともに前年実績値を下回りました。
2. ソリューション分野につきましては、基幹システムの開発案件等により、売上高、営業利益ともに計画値・前年実績値を上回りました。
3. プロダクト分野につきましては、大型案件の展開スケジュールの変更等により、売上高、営業利益ともに計画値・前年実績値を下回りました。
4. その他 I T 関連分野につきましては、店舗向け機器販売の増加等により、売上高、営業利益ともに計画値・前年実績値を上回りました。

単位：百万円（百万円未満切捨て）

【売上高】 分野	2021年上期		計画対比			前年同期対比		
	実績値	売上比率	計画値	計画比	計画差	実績値	前年比	前年差
アウトソーシング分野	4,204	28.9%	4,194	100.2%	10	4,371	96.2%	▲166
ソリューション分野	5,949	40.9%	5,778	103.0%	170	5,537	107.4%	411
プロダクト分野	1,743	12.0%	1,995	87.3%	▲252	1,774	98.3%	▲30
その他IT関連分野	2,651	18.2%	2,231	118.9%	420	2,398	110.6%	253
合計	14,549	100.0%	14,200	102.5%	349	14,082	103.3%	467

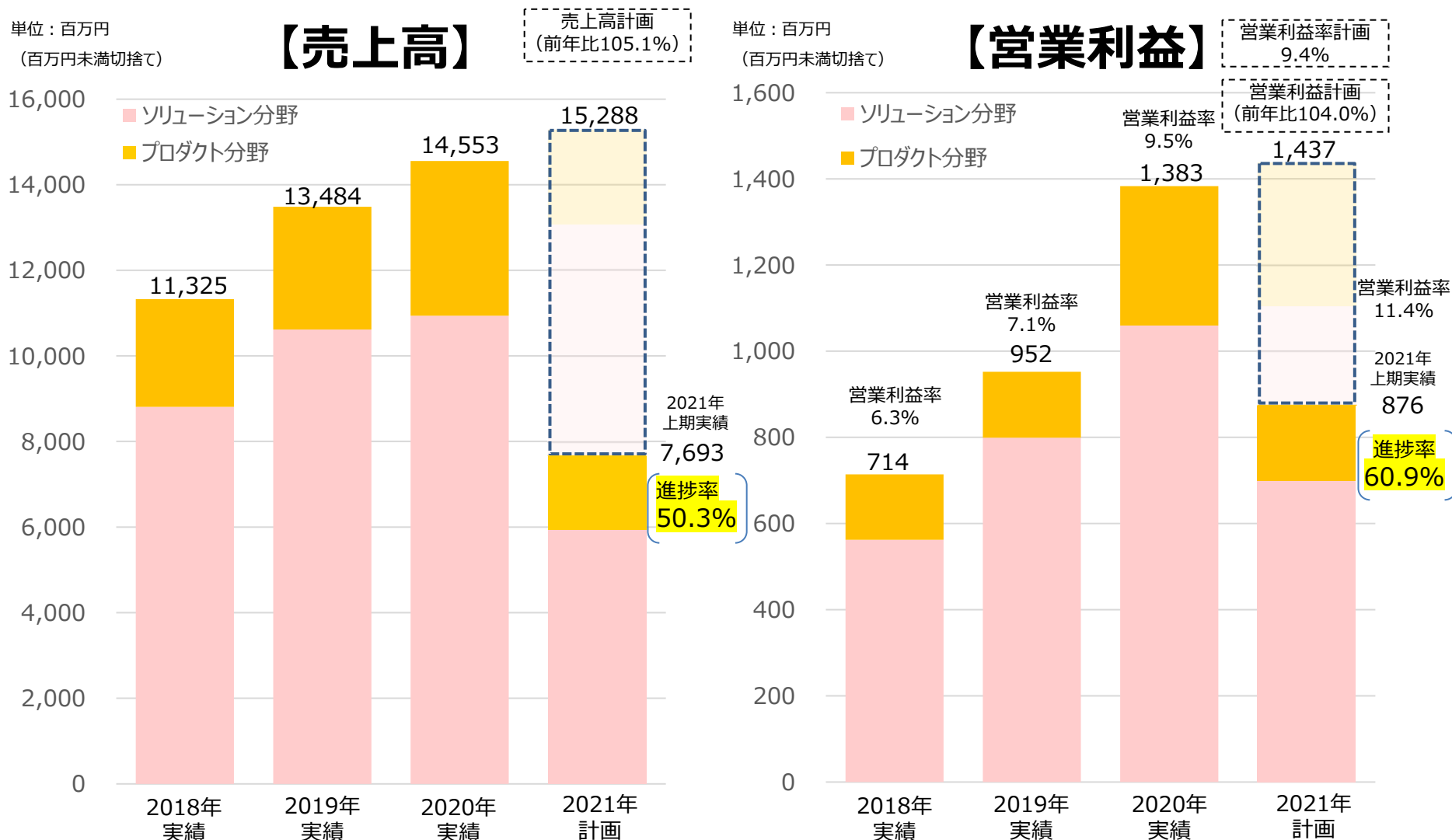
【営業利益】 分野	2021年上期		計画対比			前年同期対比		
	実績値	売上比率	計画値	計画比	計画差	実績値	前年比	前年差
アウトソーシング分野	303	7.2%	289	104.8%	14	319	95.2%	▲15
ソリューション分野	698	11.7%	575	121.5%	123	532	131.2%	166
プロダクト分野	177	10.2%	203	87.0%	▲26	197	89.9%	▲19
その他IT関連分野	87	3.3%	65	133.2%	21	73	120.2%	14
合計	1,268	8.7%	1,135	111.7%	133	1,122	113.0%	145

分野別状況（ソリューション分野、プロダクト分野）

VINX

＜ソリューション分野とプロダクト分野の4年推移＞

主要ビジネスであるソリューション・プロダクト分野の売上/営業利益が順調に推移しております。



分野別状況（アウトソーシング分野）

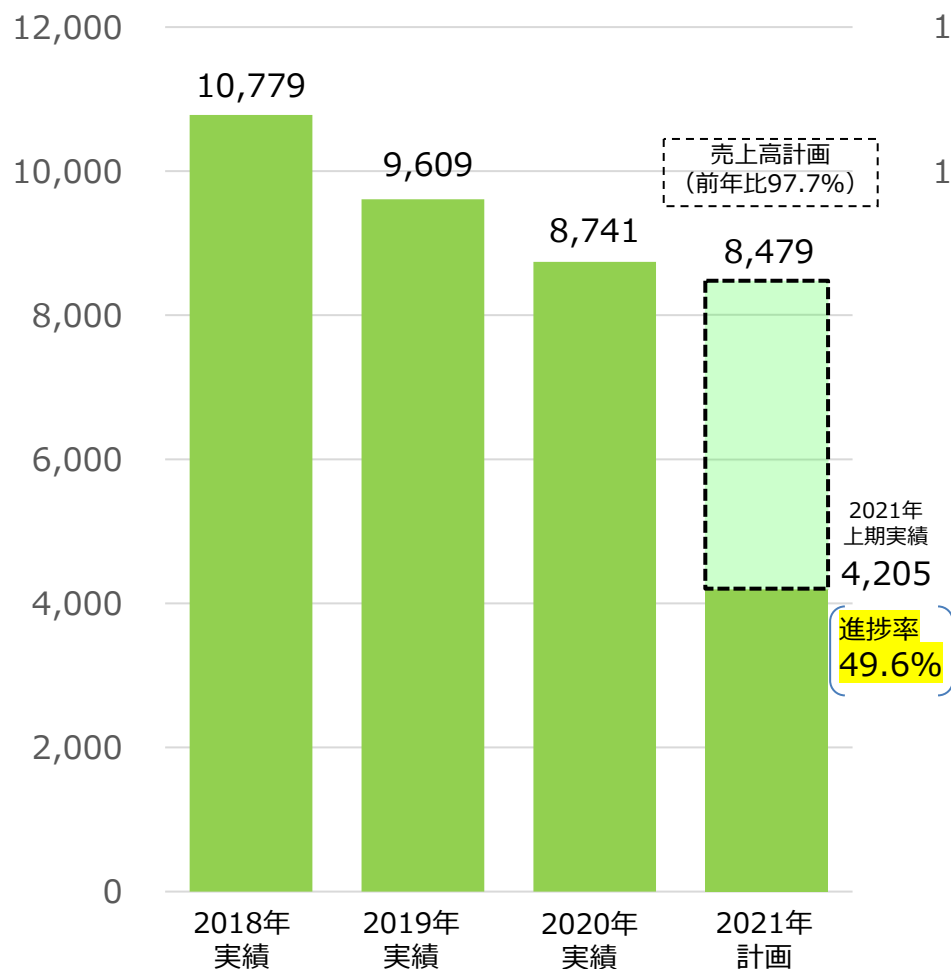
VINX

＜アウトソーシング分野の4年推移＞

オンプレミスからクラウドへの移行などのビジネス形態の変更及び海外を中心とした顧客の店舗休業およびサービス内容変更等により売上高は減少しておりますが、営業利益は確保しております。

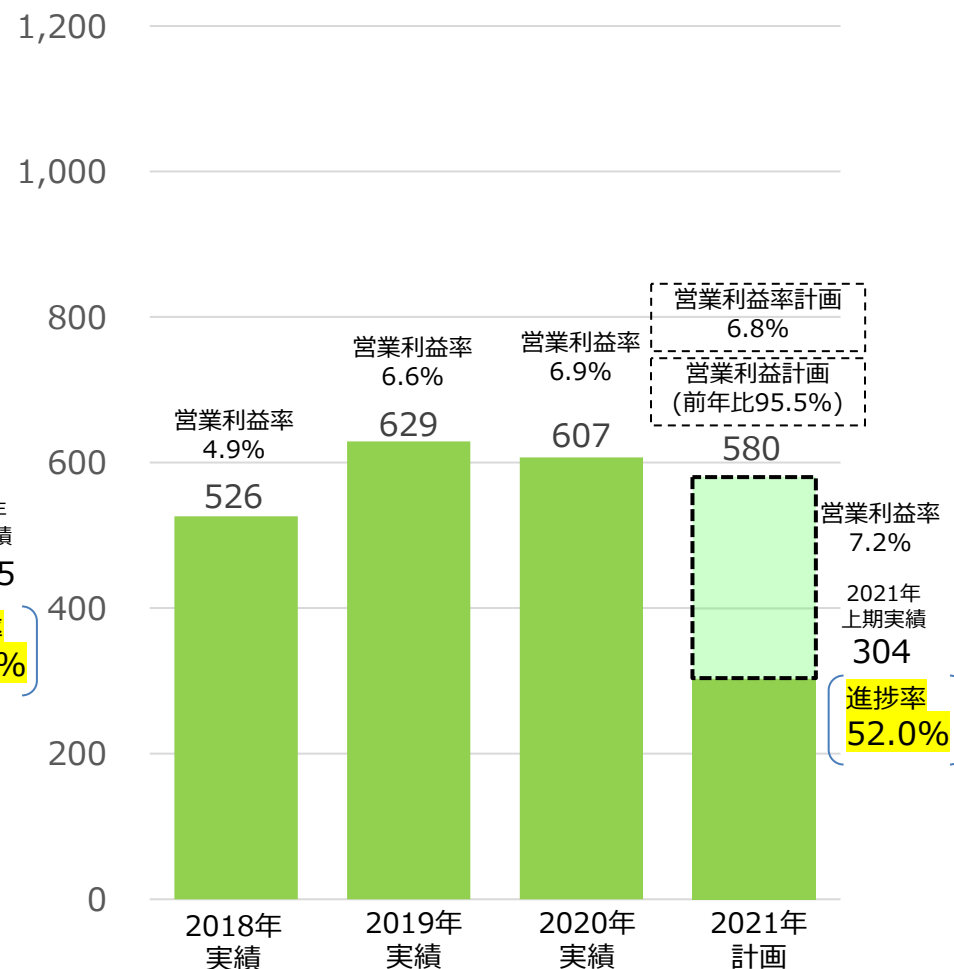
単位：百万円
(百万円未満切捨て)

【売上高】



単位：百万円
(百万円未満切捨て)

【営業利益】



主要プロダクトの実績状況 <POS関連>

VINX

POSパッケージ（ANY-CUBE・SoftWareCAT）の導入は、順調に推移しております。

台数(累計)

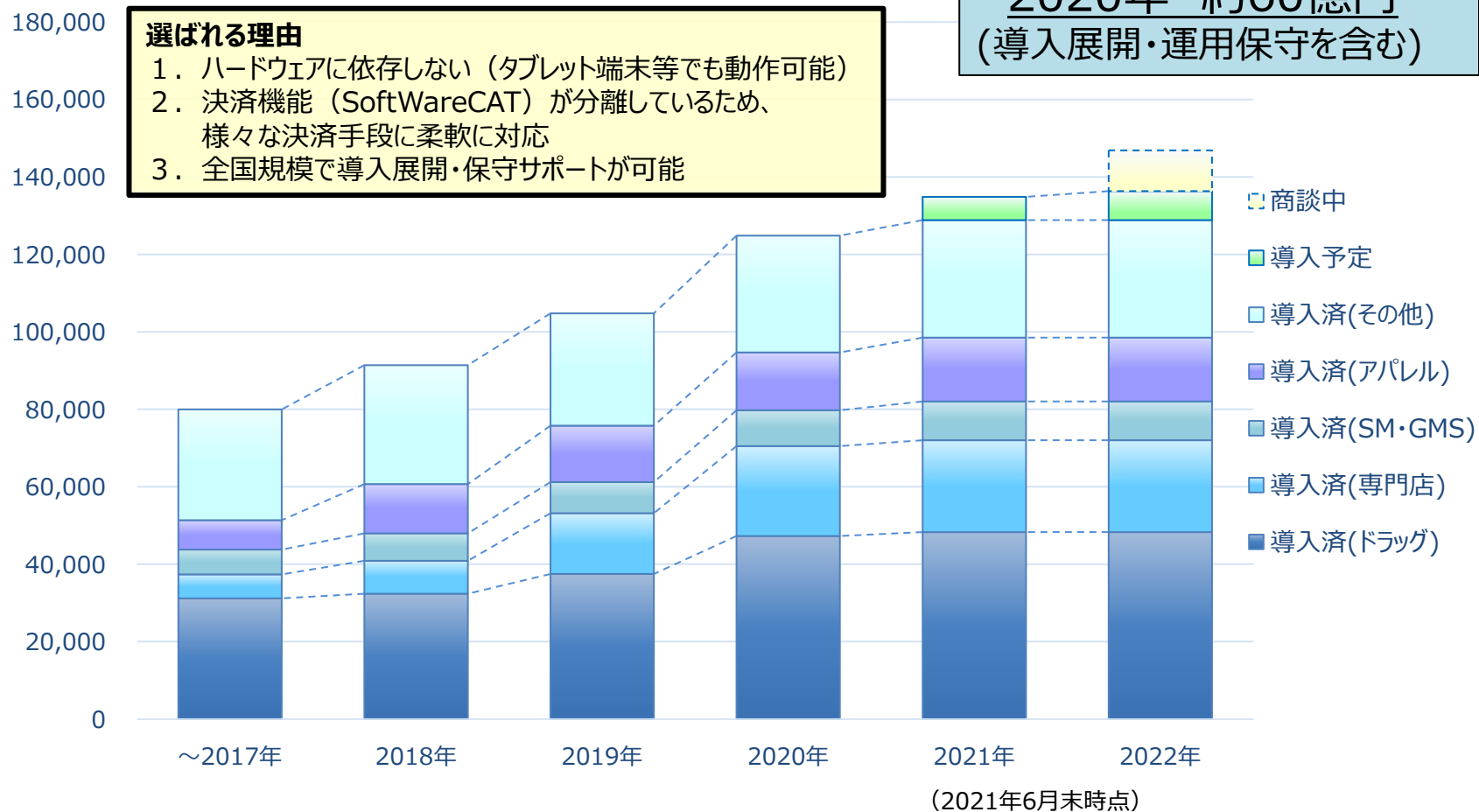
累計導入台数

選ばれる理由

1. ハードウェアに依存しない（タブレット端末等でも動作可能）
2. 決済機能（SoftWareCAT）が分離しているため、様々な決済手段に柔軟に対応
3. 全国規模で導入展開・保守サポートが可能

【事業規模】

2020年 約60億円
(導入展開・運用保守を含む)



主要プロダクトの実績状況 <MD・自動発注>

VINX

社数(累計)

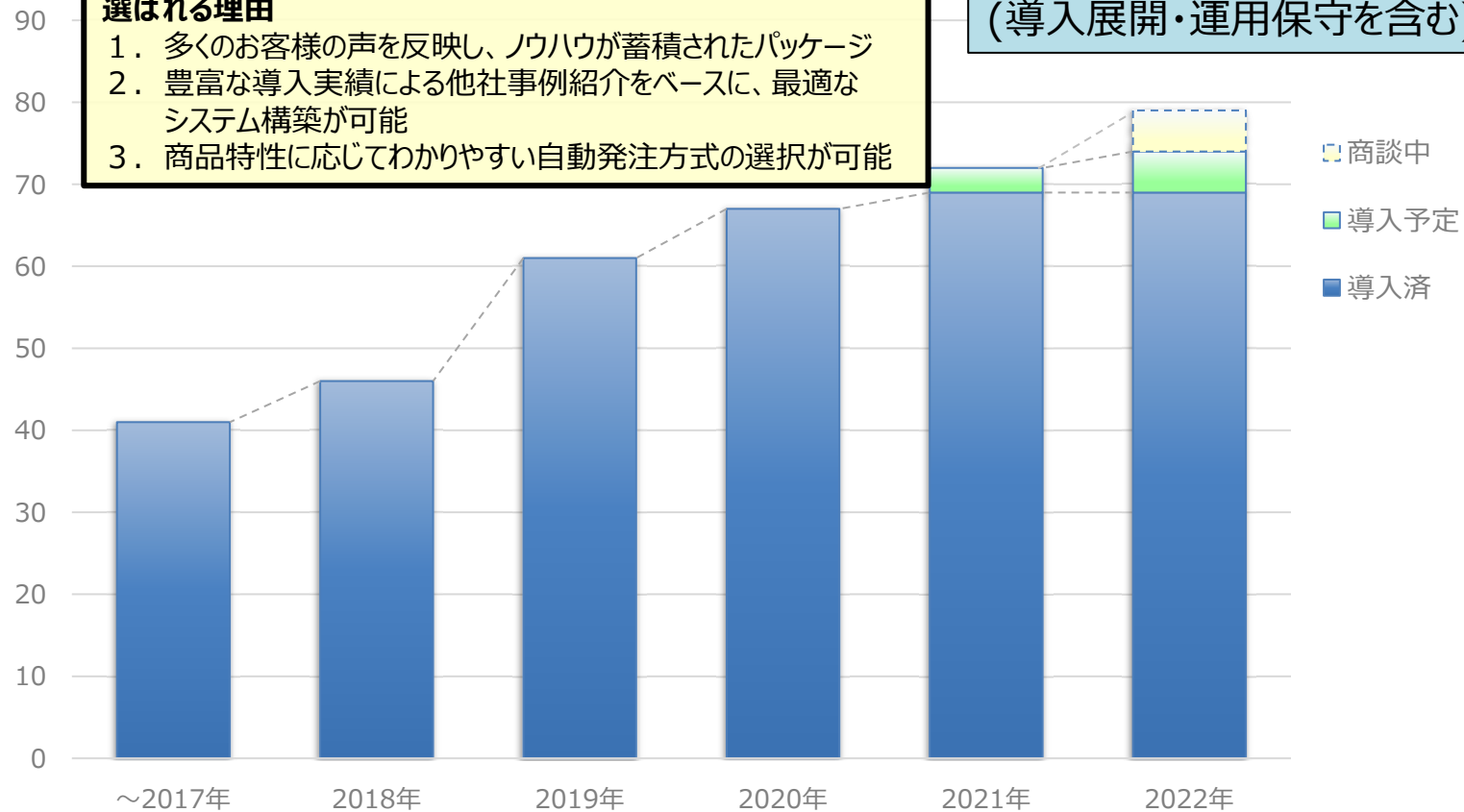
MD基幹システム・自動発注 導入件数

【事業規模】

2020年 約21億円
(導入展開・運用保守を含む)

選ばれる理由

1. 多くのお客様の声を反映し、ノウハウが蓄積されたパッケージ
2. 豊富な導入実績による他社事例紹介をベースに、最適なシステム構築が可能
3. 商品特性に応じてわかりやすい自動発注方式の選択が可能



(2021年6月末時点)

RPAの導入状況

2017年よりBizRobo!の販売パートナーとして、流通小売業のお客様を中心にRPA導入を推進。導入社数は順調に推移し、お客様の業務改善に貢献しております。

社数(累計)

50
45
40
35
30
25
20
15
10
5
0

選ばれる理由 ～ 流通小売業でNo.1

1. 流通小売業の現場を熟知しており、的確な改善提案を実施
2. PoCから運用保守まで、ワンストップでサービスを提供

⇒RPA業界 1位のRPAテクノロジーズ株式会社より
RPA事業の拡大について2年連続受賞

2019年「専門領域表彰」

2020年「デジタル・トランスフォーメーション賞」



【事業規模】

2020年 約2.1億円

- 商談中
- 導入予定
- 導入済

～2017年

2018年

2019年

2020年

2021年

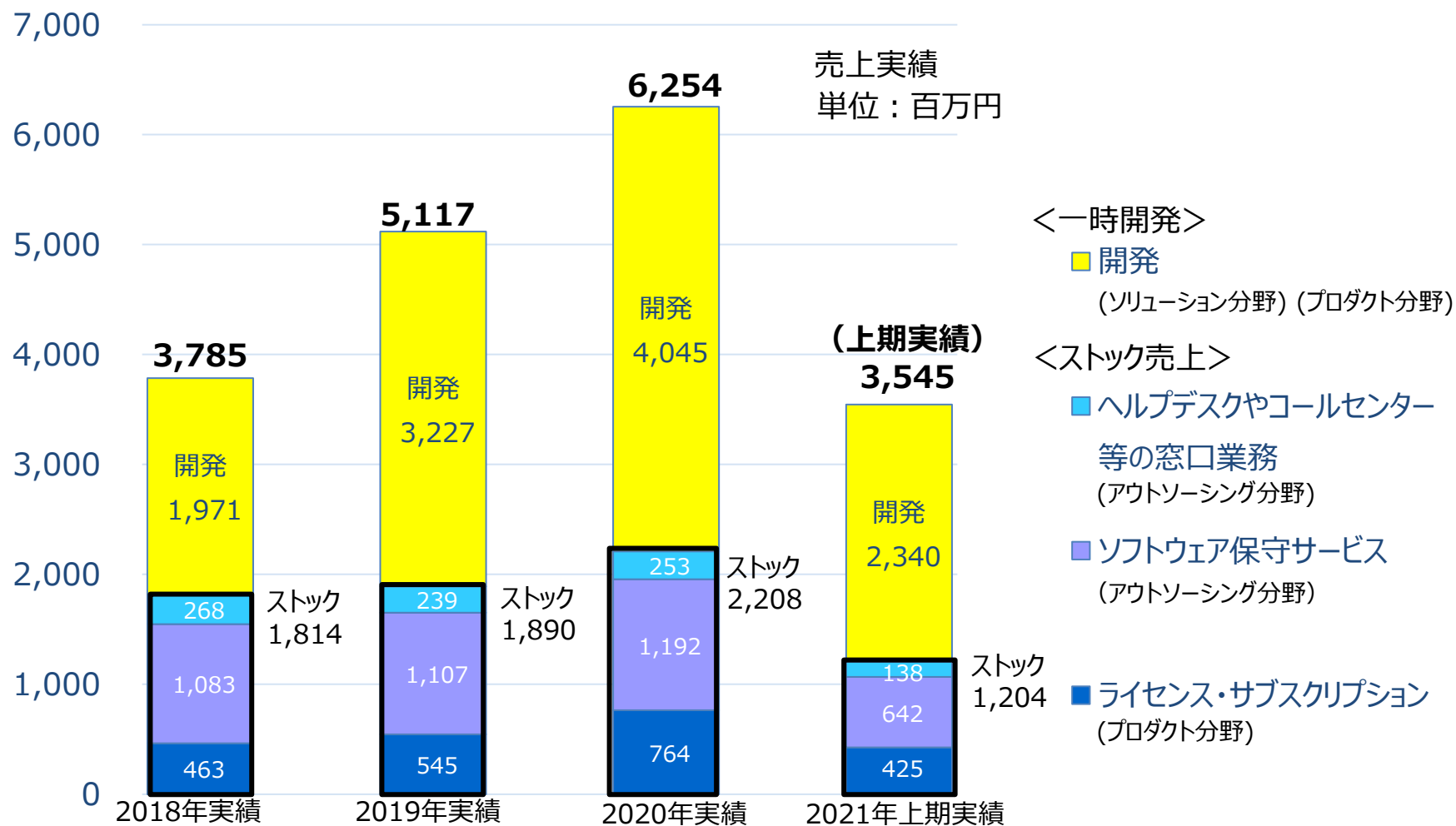
(2021年6月末時点)

主要プロダクトのストック化進捗状況

VINX

主要プロダクトの一時開発の売上増に合わせて、ストック売上も順調に推移しております。

主要プロダクト（①ANY-CUBE ②MDware ③Satisfa ④運用管理 ⑤RPA）の売上推移

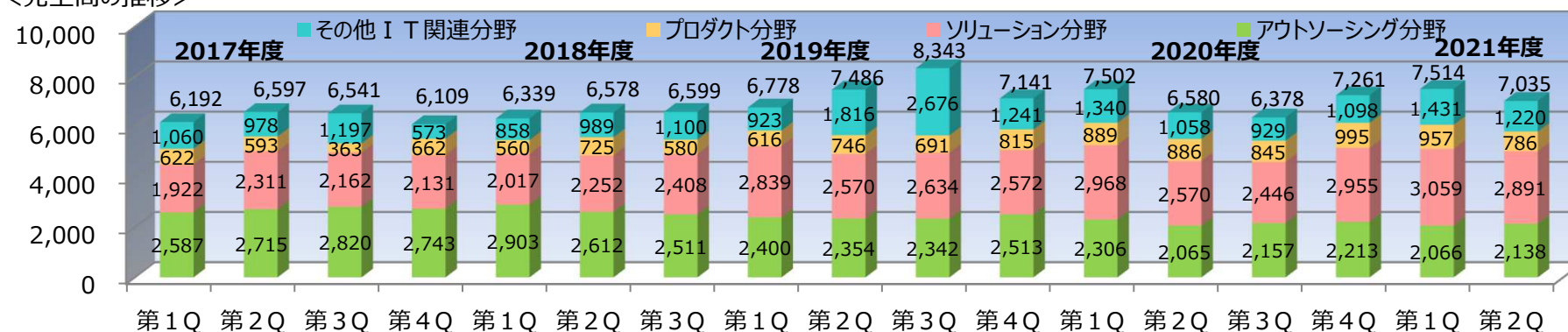


分野別状況

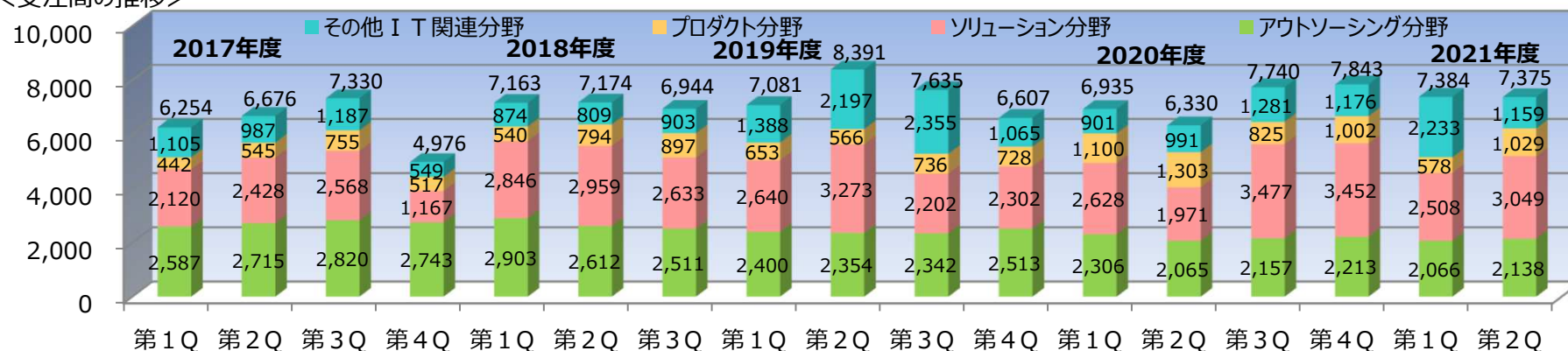
VINX

＜売上高の推移＞

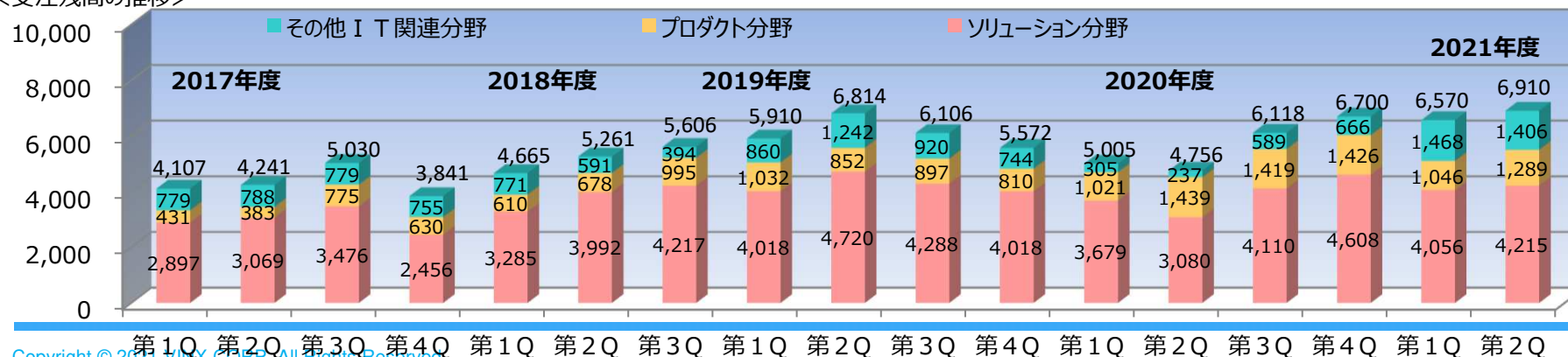
(単位：百万円)



＜受注高の推移＞



＜受注残高の推移＞



2021年12月期 第2四半期 決算説明資料

■ 決算概要

■ 主なトピックス

営業活動における主なトピックス

VINX

戦略の実行 リテール ニュー	スーパー ○次世代キャッシュレス・セルフPOS、スマートPOS 関東地方を中心として展開する大手スーパー様より、次世代キャッシュレス・セルフPOSシステムおよびスマートフォンを利用したPOS等のスマートPOSシステムの導入拡大案件を受注いたしました。
特定顧客 事業の深耕	流通・サービス ○基幹システム 大手総合小売業グループ様より、店舗関連業務に関する基幹システムのリプレイス案件を受注いたしました。
	ディスカウントストア ○物流システム 関東地方を中心として展開する大手ディスカウントストア様より、物流センター統合案件を受注いたしました。
プロダクト 事業の強化	電鉄系専門店 ○基幹システム 関西地方を中心として展開する鉄道会社グループより基幹システム「AP-Vision」の導入案件を受注いたしました。
リテール ソリューション 事業の拡大	フードサービス ○キャッシュレス 全国に展開する大手ファストフード様より、キャッシュレス対応案件を受注いたしました。
	スーパー・アパレル ○RPA (Robotic Process Automation : これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化することをいいます) スーパーマーケット・アパレル等のお客様 6 社より、RPAの導入案件を受注いたしました。
グローバル 事業の拡大	ホテル ○チェックインシステム マレーシア大手財閥グループ様より、ホテル向けチェックインシステムの導入展開案件を受注いたしました。

POSシステムと店舗IoT機器との接続インターフェイスが 国際標準仕様として採択

小売業のPOSシステムと店舗におけるIoT機器との接続インターフェイスの仕様について、OPOS技術協議会（※1）を通じて「UPOS 1.16 RCSD」（※2）として国際標準化団体（OMG ※3）に提唱した結果、国際標準仕様としての採択が決定しました。
2017 年より OPOS 技術協議会内に「リテールコミュニケーションサービスデバイス分科会」を立ち上げ、ヴィンクスが中心となって標準化仕様の検討を進めてきた活動の成果となるものです。
今回の採択により、当社が考える次世代型店舗システムの普及・拡大が期待されます。

※1 OPOS技術協議会（Open Point of Service 技術協議会）

オープンで多様な POS 端末の実現と POS アプリケーション開発の生産性向上を目指した技術協議会です。
Object Management Group (OMG) と密接に連携を保ちながら活動を展開し、日本市場独特の POS 周辺装置仕様の国際統一仕様への反映、策定仕様の普及などを行っています。

※2 UPOS（Unified POS）

周辺機器をPOSシステムに接続するための世界標準仕様です。動作環境に応じて、OPOS、JavaPOS、POS for .NETの三種類があります。

※3 OMG（Object Management Group）

オブジェクト指向技術の標準化を普及すめるために1989年に米国ボストンで設立された国際的な非営利団体で、世界各国のICT関連企業・ICTユーザー・大学・研究機関・政府機関などで構成されています。

主なトピックス ～ POSの標準化 ～



VINX

No.	デバイス	No.	デバイス
1	ドロー	26	紙幣入金機
2	ラインディスプレイ	27	硬貨入金機
3	ハードトータル	28	紙幣出金機
4	キーロック	29	イメージスキャナ
5	磁気ストライプリーダ	30	電子バリューリーダライタ
6	POSプリンタ	31	RFIDスキャナ
7	スキャナ (バーコードリーダ)	32	チェックスキャナ
8	POSキーボード	33	ベルト
9	コインディスペンサ	34	ゲート
10	MICR (磁気インクリーダ)	35	アイテムディスペンサ
11	秤	36	ライト (既存仕様への追加)
12	シグニチャ・キャプチャ	37	ビデオキャプチャ
13	自動釣り銭機	38	個体認識
14	トーンインジケータ	39	サウンドレコーダ
15	フィスカルプリンタ	40	音声認識
16	PINパッド	41	サウンドプレーヤー
17	リモートオーダディスプレイ	42	音声合成
18	バンパバー	43	ジェスチャーコントロール
19	CAT (CREDIT AUTHORIZATION TERMINAL)	44	デバイスモニタ
20	ポイントカード機	45	グラフィックディスプレイ
21	パワーマネージメント (既存仕様への追加)		
22	スマートカードリーダライタ		
23	バイオメトリクス		
24	電子ジャーナル		
25	モーションセンサ		

今般、国際標準仕様に採択

9デバイス 新規仕様

2デバイス 既存仕様への追加

新規仕様

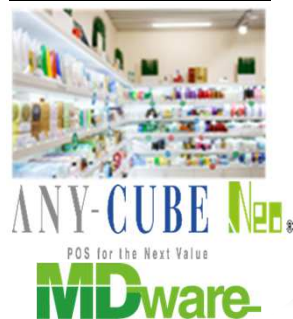
主要プロダクトにおける採用業種の拡大状況

業種業態別の大手企業でVINXソリューションの採用が進んでいます。

(大手企業が当社の主要プロダクト (POS、MD) を採用している業種業態)



ドラッグストア



スーパーマーケット



総合スーパー



100円ショップ



ホームセンター



家具専門店



流通小売業におけるITのリーディングカンパニー

流通小売業の変革をITでリードし、より豊かな社会を実現します

KEYWORD

小売業のDX ニューリテール化

- ・スマートストア化
- ・ネットとリアル融合
- ・店舗のメディア化

有力企業との連携 ※プレスリリース済み

- 合併企業
 - ・トライアルHD様
 - ・サツドラHD様
- 業務提携企業
 - ・セールスフォース様
 - ・Panasonic様
 - ・Microsoft様

社会への貢献

- ・日本小売業協会との連携
- ・POS世界標準化
- ・流通小売業のDX化支援

「豊かな社会の実現」に向けた具体的な取り組みとして、ESG（環境、社会、ガバナンス）経営に、より一層取り組みます。

Environment

2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向け、小売業の次世代のお店づくり等、新たな環境価値を創造します。



Social

少子高齢化を始めとする様々な社会課題に貢献し、安全・安心・快適な暮らしを支えています。
また、従業員がやりがいを持ち最大限の能力を発揮できる環境を整え、多様な人材が活躍できるダイバーシティを進めています。



Governance

経営の健全性、透明性を確保しつつ、適時・適切・公正な情報開示を充実し、かつ、事業拡大に伴うリスクに対してリスクマネジメントの強化を図ります。



主な取り組み

- ・気候変動の主な原因とみられるCO2の排出削減に向け、オフィスでの省エネに取り組んでいます。
- ・リサイクル商品の利用や事業活動で発生する廃棄物の削減に取り組んでいます。

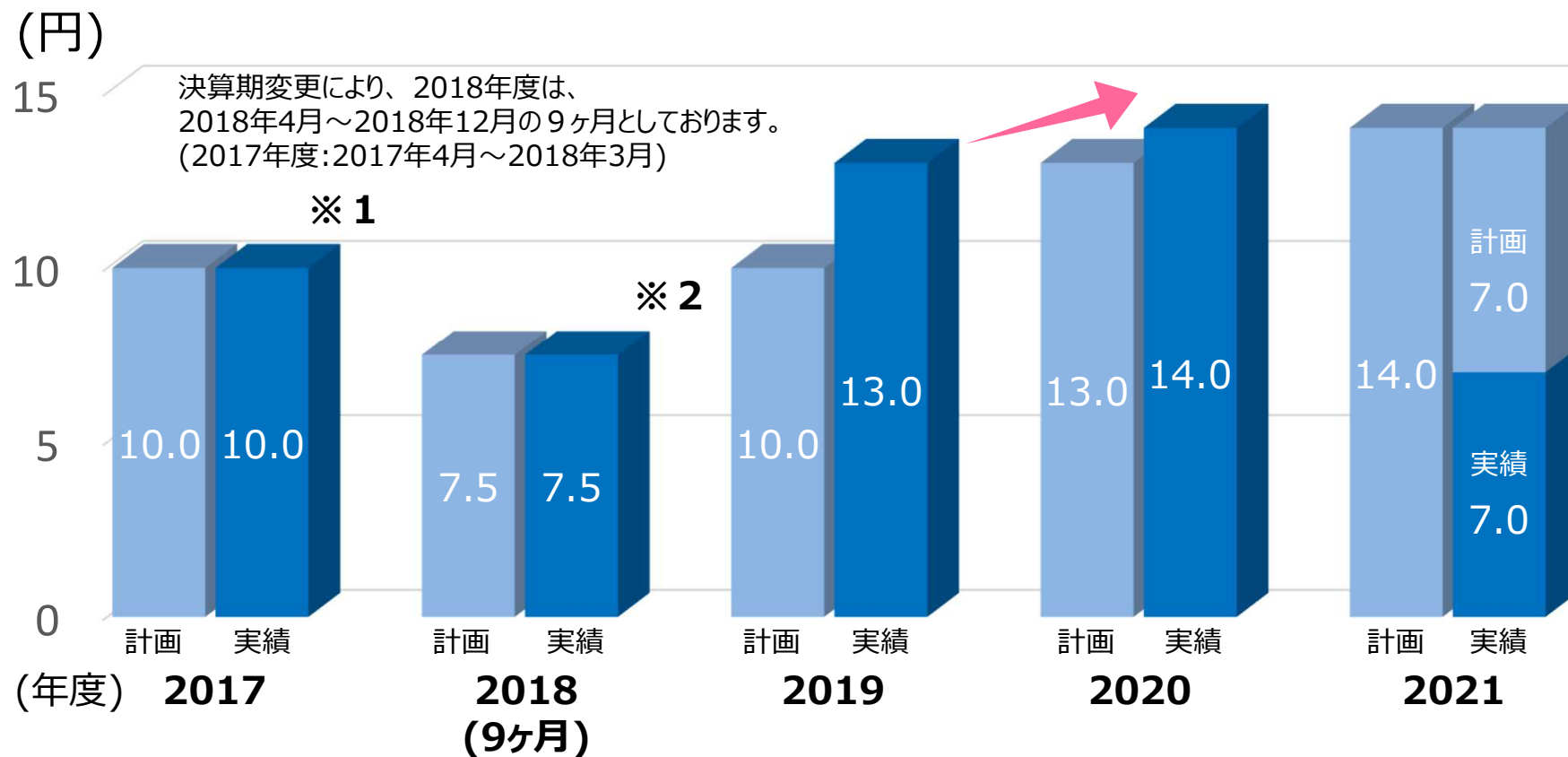
- (1) 人権と労働
 - ・基本的人権の尊重やハラスメント防止
 - ・適正な労働時間の管理
 - ・健康・メンタルヘルスの維持向上
 - ・従業員のスキルアップやキャリア開発の支援
 - ・育児・介護支援
- (2) 社会貢献
 - ・文化、スポーツへの支援
 - ・被災者支援など

- (1) 法令遵守
- (2) リスクマネジメント
- (3) コーポレート・ガバナンス
- (4) ステークホルダーとの対話

2021年12月期 第2四半期 決算説明資料

参考資料

【1株当たり配当金の推移】



※1 2017年度実績について
2018年3月 株式1株につき、2株の割合で株式を
分割しております。
株式分割前2017年度は、20.0円の実績ですが、
分割後の2分の1の換算で表記しております。

※2 2018年度実績について
2018年度は9ヶ月決算のため、
期末配当金は3ヶ月分の2.5円となっております。

【貸借対照表】

単位：百万円、%、百万円未満切捨て

区分	2021年12月期 第2四半期末	構成比 (%)	2020年 12月期末	差額
流動資産	14,028	74.0	13,437	591
固定資産	4,939	26.0	5,331	▲391
＜有形固定資産＞	1,218	6.4	1,357	▲138
＜無形固定資産＞	1,780	9.4	1,895	▲114
＜投資その他の資産＞	1,940	10.2	2,078	▲137
資産合計	18,968	100.0	18,768	199
流動負債	5,950	31.4	6,330	▲380
固定負債	2,682	14.1	3,011	▲328
負債合計	8,632	45.5	9,341	▲709
純資産	10,335	54.5	9,426	908
負債・純資産 合計	18,968	100.0	18,768	199

＜貸借対照表のポイント＞

前期比の主な増減要因は、以下の通りです。

・資産

現金及び預金	2億 78百万円増加
受取手形及び売掛金	2億 39百万円増加
仕掛品	55百万円減少
工具、器具及び備品	1億 8百万円減少
ソフトウェア	85百万円減少

・負債

買掛金	2億 28百万円増加
未払金	2億 96百万円減少
短期借入金	2億 47百万円減少
1年以内返済予定の 長期借入金	1億 2百万円減少
長期借入金	3億 2百万円減少

・純資産

利益剰余金	6億 78百万円増加
為替換算調整勘定	1億 13百万円増加
新株予約権	1億 2百万円増加

キャッシュ・フローの状況

VINX

単位：百万円、百万円未満切捨て

税金等調整四半期純利益	1,273
減価償却費	490
その他	▲254
小計	1,508
利息、法人税等の支払額等	▲329
営業活動によるキャッシュ・フロー ①	1,179
有形固定資産の取得による支出	▲43
無形固定資産の取得による支出	▲213
差入保証金の回収による収入	80
その他	▲47
投資活動によるキャッシュ・フロー ②	▲225
短期借入れによる収入	1,832
短期借入金の返済による支出	▲2,080
長期借入金の返済による支出	▲408
その他	▲141
財務活動によるキャッシュ・フロー ③	▲798
現金及び現金同等物に係る換算差額	94
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）	250
現金及び現金同等物の期首残高	6,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,980

＜キャッシュ・フロー計算書のポイント＞

第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は69億80百万円となりました。

詳細は以下の通りです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動の結果、11億79百万円増加しました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果、2億25百万円減少しました。

＜主な要因＞

- ・無形固定資産の取得
- ・プロダクトソフトウェアの開発等

③財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動の結果、7億98百万円減少しました。

＜主な要因＞

- ・短期借入金、長期借入金の返済

本資料の取扱いの注意

VINX

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

正確性を期すために慎重に行っておりますが、正確性・完全性を保証するものではありません。

また、本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は当社の公表している将来見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社ヴィンクス
企画本部 経営企画部
連絡先：03-5637-7607